

Rotary Yachiyo



2022-23 年度国際ロータリーテーマ

「イマジン ローターリー」

2022-23 年度クラブテーマ

「ロータリーを学び、語り、

奉仕を実践していこう。"Think"」

週 報 第 2 6 8 7 回

2023 年 2 月 10 日

八千代ロータリークラブ CLUB NO.15070

今回例会行事

担 当：出席委員会

テーマ：文・行・忠・信と鉄骨工事

卓話者：山浦恭宏会員

次回例会 2 月 1 7 日

担 当：会員増強委員会

テーマ：今トレンドのアルファベットカタカナ用語

及び会員増強について

卓話者：三井啓久会員

◆◆◆第2686例会◆◆◆

司会 中島貞好

「奉仕の理想」

会長挨拶

会長 杉 晟

皆さん、こんにちは。

前回の例会で職業奉仕に関わる決議23-34に触れましたが、この件でもう少し理解しやすい資料が見つかりましたので披露させていただきます。

{ロータリーは、基本的には一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情とのあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものであり、この哲学は Service above self という「超我の奉仕」の哲学であり、これは、He profits most who serve best 「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という実践的な倫理原則に基づくものなのです。} をよく理解することです。

「決議23-34の制定とは」

- 理論派と実践派による分裂の危機から大同団結へ -

「源流の会」の会長として全国のロータリアンの間でよく知られている第 2680 地区パストガバナーの田中毅氏は、「決議23-34の徹底的解析」の中で、「ほとんどのロータリアンは決議23-34という言

葉を聞いたことがあると思います。しかしその内容をしっかりと理解している人は少ないのではないのでしょうか。決議23-34はロータリーのすべての活動に係る指針ですから、これを無視するわけにはいきません。」と述べられています。過去(2008 年)わがクラブがホストクラブとして IM の本会議を担当した折、講師として田中氏をお招きし、決議23-34のテーマで講演して頂いたことがありましたが、今回はこの「決議23-34」に関する資料を紹介させていただきます。

1905 年、「親睦と互いの助け合い」を目的として誕生したロータリーも、発足後しばらくして、ロータリーの目的や存在理由について疑問を持つ人が出始めました。そうした疑問の声に創始者ポールハリスは痛く反省をし、クラブの目的としてクラブ内の親睦だけではなく、世のため、人のためにという奉仕の考えを取り入れることとなりました。奉仕の概念は、当時入会した経営学の専門家であったアーサー・フレデリック・シェルドンによって職業奉仕の概念として理論化されると、瞬く間に会員の間に浸透し、これを機にロータリーの組織が拡大するエネルギーとなりました。親睦と相互扶助だけのロータリーから「親睦と奉仕」のロータリーへと変化したのです。

そうした中、当時流行していたポリオ感染

による身体障害児の救済や保護に取り組んでいた会員達からは、理論だけではなく具体的な奉仕の実践を積極的にすべきである、という声が顕著になってきました。クラブとして個人の職業倫理向上をすべしという理論派と、クラブが団体として社会奉仕をする必要があるという実践派の間で、ロータリーを二分する大論争が起きクラブの存続が危ぶまれる危機となってきました。そうした中で、1923年セントルイス国際大会でこの大論争を解決するための起草案が提示され、採択されたのが決議23-34というものであります。この決議案の制定によって、個人奉仕か団体奉仕かという論争に終止符が打たれ、ロータリーの奉仕の理念として、利己と利他の調和による奉仕の実践原理が確立されることとなったのです

- 「決議23-34の徹底的解析」より抜粋
- 決議23-34制定の経緯

社会的な奉仕が、ロータリー運動の中で市民権を得るようになり、中小クラブは競って身体障害児対策に取り組むようになります。親しみを持ってダディ・アレンと呼ばれたエリリア・ロータリークラブのエドガー・アレンは、身体障害児対策をすることを条件にしてエリリア・ロータリークラブに入会し、エリリア・クラブもそれを全面的に後援して、最終的にはそれを全国組織にまで発展させました。しかしこれらの社会奉仕活動は大きな資金とマンパワーを必要とするために、奉仕活動の実践をめぐって熾烈な論争が起こりました。ロータリアンの心に【奉仕の心を形成】することがロータリー運動の本質だとする理論派と、【奉仕活動の実践こそロータリアンの使命】だとする実践派との論争です。

ロータリー運動を【奉仕の心の形成】として捉えた理論派は、ロータリークラブの使命は、ロータリアンに【奉仕の心】を形成させることであり、ロータリアン個々人が奉仕の心を持って、自分の職場や地域社会の人々の幸せを考えながら、職業人としての生活を歩むことであると考えました。すなわち、クラブ例会で会得した高いモラルに基づく【奉仕の心】で事業を行い、その考えを業界全体に広げていくことが、全ての人々に幸せをもたらし、それが地域社会の人々への奉仕につながることを確信していたのです。もし、職業奉仕以外の分野で奉仕に関する社会的ニーズがあれば、夫々の会員が個人の奉仕活動として実施するか、自分が属している

職域や地域社会の団体活動として実施すればよいのであって、+クラブはあくまでも、どのような社会的ニーズがあるのかを提唱するだけに止めるべきであり、社会奉仕活動の実践は、ロータリークラブが実施母体になるのではなく、そのニーズを世に訴え、それに対処する運動が盛り上がるような触媒として機能すべきである。どうしても、地域社会に何かしたいのならば、職業上得られた Profits から個人的に行ったらよい、という考え方でした。これに対して、【奉仕活動の実践】に重きをおく実践派は、現実には身体障害者や貧困などの深刻な社会問題が山積し、これまでにロータリークラブが実施した社会奉仕活動が実効をあげていることを根拠に、理論派とことごとく対立しました。実践派から見れば、奉仕の機会を見出してそれを実践することこそロータリー運動の真髓であり、単に奉仕の心を説き奉仕の提唱に止まる理論派の態度は、責任回避としか写らなかったのです。【奉仕の心の形成】と【奉仕の実践】の論争は、個人奉仕と団体奉仕、さらに金銭的奉仕の是非にまで発展して、綱領から社会奉仕の項目を外せという極論まで飛び出すほどの、激しい対立が続きました。

決議委員長の指名を受けたウイル・メーニャは4名の委員と共に決議23-34を書き上げ、この1,000語からなる決議は直ちに大会で皆に披露され、一言の訂正もなく採択され、この論争に終止符が打たれることになりました。

決議23-34の内容

決議23-34はロータリーの綱領に基づくすべての実践活動に対する指針であると同時に、ロータリーの二つの奉仕理念をロータリー哲学として確定したドキュメントです。

第一条には、冒頭に説明した通り、ロータリーの奉仕理念が明確に定義づけられています。ロータリーは、基本的には一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情とのあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものであり、この哲学は Service above self という「超我の奉仕」の哲学であり、これは、He profits most who serve best 「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という実践的な倫理原則に基づくものなのです。

第四条では、ロータリー運動は単なる理

念の提唱ではなく、実践哲学であり、奉仕するものは行動しなければならないと述べられています。往々にして理論派と称する人の中には、理屈だけは人一倍述べても、実践活動には一回も参加したことのない人を見受けます。クラブが団体奉仕活動を行う際の条件として、毎年一つの新しいプログラムを実施すること。単年度で終了すること。地域社会のニーズに従うこと。クラブ全員の協力が得られることが定められています。この条文によって、条件付とは言え、クラブの団体奉仕が認められていることを忘れてはなりません。

(参照; 2021-22 年度 福山西ロータリークラブ 職業奉仕委員長 勝岡正剛)
(決議 23-34 の文中の「綱領」は The Object of Rotary の和訳で、現在は「ロータリーの目的」という訳語に変わっている。)

(参考として、ライオンズクラブの奉仕について)

(文責 丹治正博)(福島ロータリークラブ)

LC の創立者メルビン・ジョーンズは元々 RC の会員でしたが、RC 内で会の運営にあたって意見が分かれた時、メルビン・ジョーンズは「奉仕活動に費用が発生するのは当然。ある程度の支出は仕方ない」が持論でしたが、これに対して「RC は職業を通じての奉仕を理念としている。お金はかけるべきではない」との意見が大勢を占めたことから、メルビン・ジョーンズは RC を離れ、1917 年 LC を設立し、寄付・寄贈を中心とした奉仕活動を展開したことから来ているようです。確かに LC はお金をかけた活動をしている、とのイメージがあります。地域の主だった場所には〇〇ライオンズクラブ寄贈と銘打ったモニュメントや看板・横断幕が目を引きまします。これに対して RC は街中でもなかなか〇〇ロータリークラブというモノには巡りあえません。LC は Donation(寄付・寄贈)を重んじる、というイメージが先行しているのは確かでしょう。

★職業奉仕はロータリーだけの金看板か？

「職業奉仕という理念は、数ある奉仕団体の中でロータリーだけが持っており、職業奉仕という考え方を持つことがロータリーの特徴だ」これはロータリアンの共通認識です。

しかしこの言葉から一つの誤解が生まれたとも言われています。「ロータリアンでなければ職業奉仕は出来ない」とか、「ロータリアン以外の人は職業奉仕をしていない」という考え方です。果たしてそうでしょうか。ライオンズにも「ライオンズ道徳綱領」があり、職業奉仕の理念を持っている奉仕団体であることを忘れてはなりません。

(補足)

ロータリアンの広場(2018.01.20)に「ロータリーの職業奉仕の歩みと今後への提案」その3-1の中で 2830 地区 元 RI 理事 黒田正宏氏(八戸南)が述べられたことを抜粋しましたので参考にしてください。「職業奉仕という言葉が表面に出てこなくても、これまでのロータリアンの心の中に生きていると私は思います。分かり易く述べる、RI では職業奉仕の重要性は分かるが、その余裕が時間的にも、スタッフにも、財政的にもないと思っているようです。職業奉仕については会員自身が、あるいはクラブが、地区からの協力を得て推進してもらいたいということでしょう。会員自身の毎日での仕事を職業奉仕の実践によって持続可能なものにし、最小限度でも収入を確保してこそ、さらに他の奉仕活動への時間や資金、寄付などが可能なのです。私たちの事業の収入を社会の人々と分かち合うのも職業奉仕の理念です。」と述べられています。

幹事報告

幹事 中村賢治

・ガバナー月信の9ページ訂正
千葉科学大学 RAC 直前会長木原正稀様誤(提唱クラブ: 銚子 RC・銚子東 RC)
正(提唱クラブ: 銚子 RC・銚子東 RC・旭 RC)

- ・鎌ヶ谷 RC 創立 50 周年記念式典
4/22 から 5/21 に変更となりました。
- ・RLI パート 2: 3/4(土)開催。参加ご希望の方は幹事までお申し出下さい。
- ・短期交換学生決定

委員会報告

青少年奉仕委員会
委員長 菊川秀明

金杉旺汰君との交換
学生が決定しましたの



でご案内いたします。

Alexander James KANAR 君

呼称 Alexander(アレクサンダー) 17 歳

アメリカ、ミシガン州ミッドランド在住

ミッドランド RC からの派遣。

ミッドランドはデトロイトの近くで、人口は4万人程度のところ。日本が大好きという事がとても感じられ、既に2年間日本語を勉強しているそうです。ご両親は、非ロータアン。双子の兄弟のひとりで、下に弟と妹がいるそうです。次年度7月以降の来日となりますが、温かく迎えて頂ければと思います。

よろしくお願い致します。

プロジェクト Y 委員会

中村賢治

2/2 南高津小学校開催にご協力頂きました会員の皆さま有難うございました。

今回は 2/7 緑が丘小学校で、10:30 と 13:25 の2回となります。

お祝い

本人誕生日

山崎克巳会員



渡邊敏美会員



結婚記念日：中島貞好会員・小村会員

齋藤敏夫会員・稲山会員

夫人誕生日：葉山会員

例会行事

担当：
プログラム委員会
委員長 中島貞好



前回プロシキターの不調がありましたので、改めて小村委員から「ガラパゴス諸島とタヒチの海に関して」ご披露頂きます。

テーマ：ガラパゴス諸島とタヒチの海
卓話者：小村昌三会員



本日は短い時間ですが写真を見て頂きたいと思います。そして、もしも旅行をお考えの方がいらっしゃったらガラパゴスとタヒチを入れて頂ければとてもいい思い出が作れると思います。

【ガラパゴス諸島】





ガラパゴス島へは過去2回撮影に出かけました。1回目は1996年にそして、2回目は8年後の2004年に行って、合計3隻の違ったタイプの船に乗船しました。一つ目は豪華な陸上のみの観光船、二つ目は帆船のヨットダイビングと陸上観光、3船目はダイビングの専用船でした。忘れられない旅になりました。

スペイン語でゾウガメを意味する galapago からきている。正式名称はロン島です。エクアドル本土から太平洋を隔てておよそ1000キロメートル西の赤道直下に点在するガラパゴス諸島は最初におよそ600万年前の海底火山の活動によって東部地区が誕生しました。主だった島々は13の大きな島と6つの小さな島があり、名前のついている島と岩礁の合計は234島確認されています。今ではダーウィン研究所や国立公園管理事務所の設置、世界遺産への登録、観光客に対するナチュラリストガイド制度などの厳重な自然保護対策を講じています。



1978年に世界遺産(自然遺産)として登録され。2001年には、ガラパゴス海洋保護区も含めた登録となっています。ここでしか見られない固有の自然こそが、ガラパゴス最大の魅力。海に潜って餌を捕るウミイグアナ、飛ぶことをやめたガラパゴスコバネウなど、5,500～6,000種ともいわれる希少な動植物を間近で観察することができます。



ガラパゴスペンギンは熱帯域に分布する唯一のペンギン。環境によってくちばしや習性が異なる鳥類、ダーウィンフィンチは生物学者ダーウィンに進化論の着想を与えたことで有名。人を恐れない無邪気な様子に魅了されますが、動物に触れることは固く禁じられています。



【タヒチ島について】

南太平洋の中央に位置しているのがタヒチ。有名なボラボラ島など118の島々を総称した呼び名であり、フレンチポリネシア漂うフランス領の高級リゾート、ポリネシア文化の発祥の地と云われ、国際空港があり、首都(パペーテ)のある島がタヒチ島、ボラボラ島、タハア島、モーレア島など、118の島々がある5つの諸島全てがタヒチ(国名:フランス領ポリネシア)と呼ばれています。





ニコニコ BOX～

¥ 21,000-

☆小村さん卓話よろしくお願ひ致します
上代・君塚・山崎・遠藤・風間・杉山
松戸・石渡・渡邊・永田・日下部・池田
江口・花島・菊川・中村
☆晴れの舞台を是非観に来て下さい。
日本が大好きになる 2/16(木)11 時開演
国立能楽堂。 佐野
☆先週欠席しました。稲山・植村・中島仁

～友愛 BOX～

¥ 37,000-

☆80 歳になりました。 山崎
☆本日 76 歳になりました。 渡邊
☆35 年もってます！ 中島貞好
☆結婚 20 年目になります。 稲山
☆結婚記念日旅行は八丈島でした。小村

☆2/4 で 45 回目の結婚記念日です。
あと5年で金婚式ですが認知症にならない様頑張ります。 齋藤敏夫
☆妻の誕生祝いありがとう。 葉山
☆本日卓話させて頂きます。 小村
☆小村さん卓話楽しみです。
杉・宮野・江頭・朝戸・中島貞好・山浦
☆プロジェクト Y 実行委員会の皆さま、昨日のユメセンお疲れ様でした。 飯生

近隣クラブ例会日		例会場					
火曜日	四街道R.C	四街道ゴルフクラブ	2 / 3	会員 総数	出席 対象者	出席者	%
火曜日	八千代中央R.C	ウィシュトンホテル・ユーカリ					
水曜日	習志野R.C	習志野商工会議所会館					
水曜日	佐倉中央R.C	第1ウィシュトンホテル・ユーカリ第3夜間オリベート					
木曜日	佐倉R.C	フランス料理 シェ・ムラ					
木曜日	習志野中央R.C	習志野商工会議所会館					
			2月のロータリーレート 1ドル≒130-				

■クラブ広報委員会 委員長：田村隆治 副委員長：久土地 剛
■出席委員長 山浦恭宏※欠席の際は必ず火曜日迄に出席委員長に連絡して下さい
■例会日 金曜日 12:30～13:30
■例会場 パッツ・ノヴィータ (〒276-0049 八千代市緑が丘 1-1-1 公園都市プラザ 1F)